

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	診療報酬明細書点検事務			事業コード	0457
担当課等	所属名	保健福祉部 生活福祉課		担当係名	
	課長名	保健福祉部 生活福祉課	担当者名	保健福祉部 生活福祉課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	経済的自立の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 3項 1目 診療報酬明細書点検事務 (001-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成7年度～)		
事務事業の概要	生活保護受給者に係る診療報酬明細書を点検するとともに、被保護者への助言・指導を通して診療報酬の適正化を図る					
根拠法令等	生活保護法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
毎年増嵩する医療費の適正化を図るため、昭和58年3月に国から「生活保護法による医療扶助の診療報酬明細書の点検について」の通知によって、診療報酬明細書の点検が義務付けられた。その後、平成12年4月から診療報酬明細書の様式が変更されたことに伴い、改めて「生活保護法による医療扶助費の診療報酬明細書の点検について」の通知により、引き続き診療報酬明細書の点検について実施するよう勧告された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
受給者番号のレセプトへの転記ミスや社保資格の確認の見落としによる過誤調整件数は依然多い状況にある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	生活保護受給者に係る診療報酬明細書(レセプト)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. レセプト件数	単位	件
				B. 医療扶助受給者	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 適正な診療報酬の支払い 1.診療報酬明細書(レセプト)の点検 2.県実施のレセプト縦覧点検のための仕分け作業 3.嘱託医師の審査及び協議による被保護者に対する指導援助 4.過誤レセプトの事務処理 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度事業の継続及びレセプト電子化への対応	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. レセプト点検件数	単位	件
				B. レセプト過誤調整件数	単位	件
				C. 過誤調整金額	単位	千円
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	診療報酬等の審査及び再審査を行うとともに、被保護者への助言・指導を通して適正な診療報酬請求をさせる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. レセプト過誤調整率 ([レセプト過誤調整件数/医療扶助レセプト件数]×100 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】)	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	経済的自立が促進される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	自立世帯数(保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く) (単位:世帯) 1人当たり平均年間受診件数(単位:件) 市営住宅における高齢者住居率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	レセプト件数	件	76498	82752	82752	95356	95356	95356	年度
対象 指標B	医療扶助受給者	人	2857	3144	3144	3313	3313	3313	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	レセプト点検件数	件	76498	82752	82752	95356	95356	95356	年度
活動 指標B	レセプト過誤調整件数	件	1276	1309	1309	1452	1452	1452	年度
活動 指標C	過誤調整金額	千円	57838	43168	43168	60501	60501	60501	年度
成果 指標A	レセプト過誤調整率 ((レセプト過誤調整件数/医療扶助レセプト件数)×100)	%	1.67	1.58	1.58	1.52	1.52	1.52	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	5,484	7,059	7,921	7,225			*****
財源 内訳	④国	千円	5,484	7,059	7,921	7,225			*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	5,484	7,059	7,921	7,225			*****
	延べ業務時間数	時間	70	400	500	500			*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	280	1,600	2,000	2,000	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,764	8,659	9,921	9,225	0	0	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 被保護者への助言及び指導をすることにより、支援の手を差し延べている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 生活保護受給者及び中国残留邦人の診療報酬明細書に限られるため。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 診療報酬明細書点検技術の向上
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 法定受託事務であるため廃止・休止ができない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最低限の事務費で行っているため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最低限の人数・時間で行っているため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 生活保護法及び中国残留邦人の自立支援に関する法律に基づく被保護者への医療扶助であるため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 生活保護法及び中国残留邦人の自立支援に関する法律に基づく被保護者への医療扶助であるため。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 診療報酬明細書点検事務と併せて専門業者に点検を委託する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 委託料のコスト上昇が懸念されるが、契約の際、業者を競争させることでコスト上昇を抑える。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ⋮ ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ⋮ ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ⋮ ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ⋮</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>電子レセプト化されることから、データの活用が多方面で可能となることから、活用方法を検討していく必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>電子レセプトの活用方法を検討する</p>											